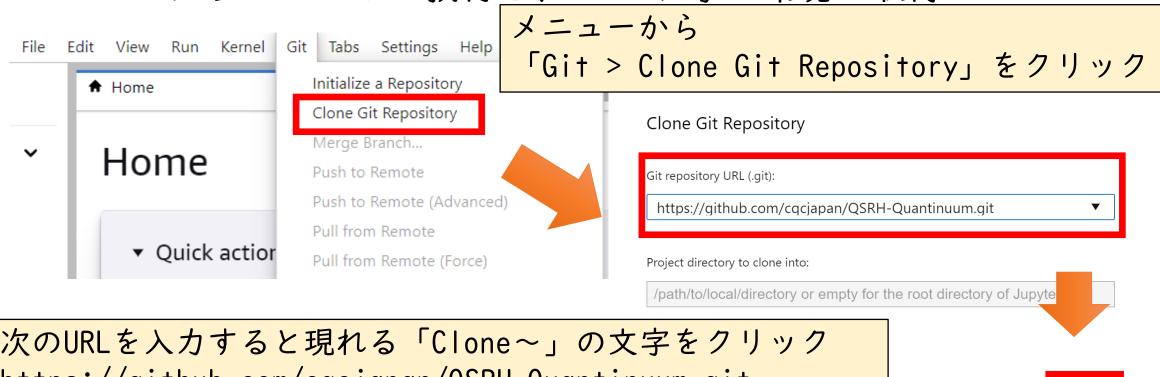
## ハンズオン環境の起動①

今回利用するTKETの教材は、 これまでの量子ソフトウェア勉強会の教材とは 別のGitHubから取得します。

GitHubからハンズオン教材を、ユーザ毎の環境に取得



次のURLを入力すると現れる「Clone~」の文字をクリック https://github.com/cqcjapan/QSRH-Quantinuum.git

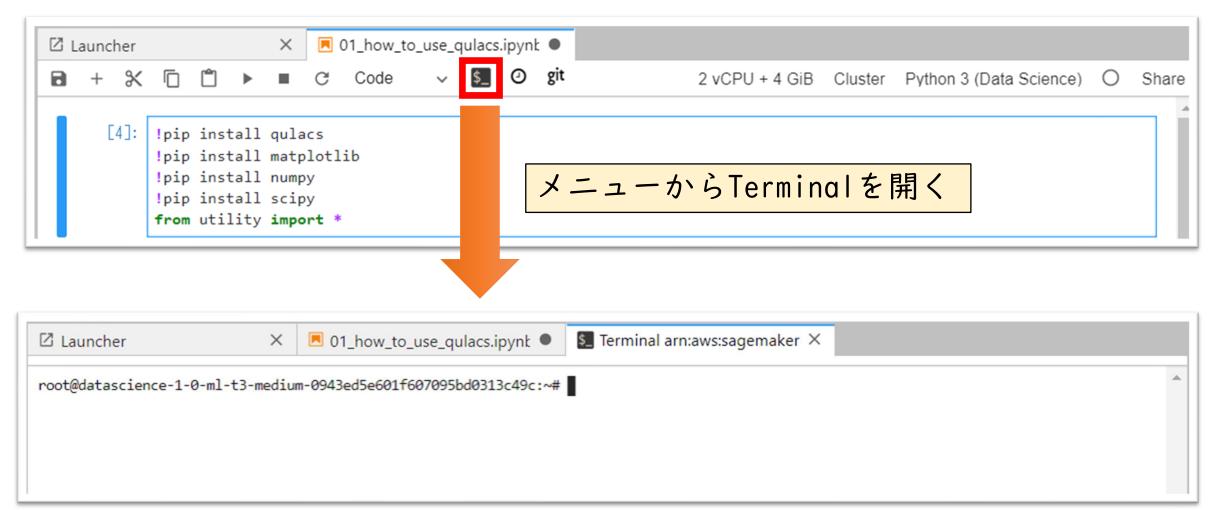


「Clone」をクリック

## ハンズオン環境の起動②

今回利用するTKETの教材は、 これまでの量子ソフトウェア勉強会の教材とは 別のGitHubから取得します。

# GitHubからハンズオン教材を、ユーザ毎の環境に取得



# ハンズオン環境の起動②

## gitコマンドを使って、TKETのハンズオン教材を取得

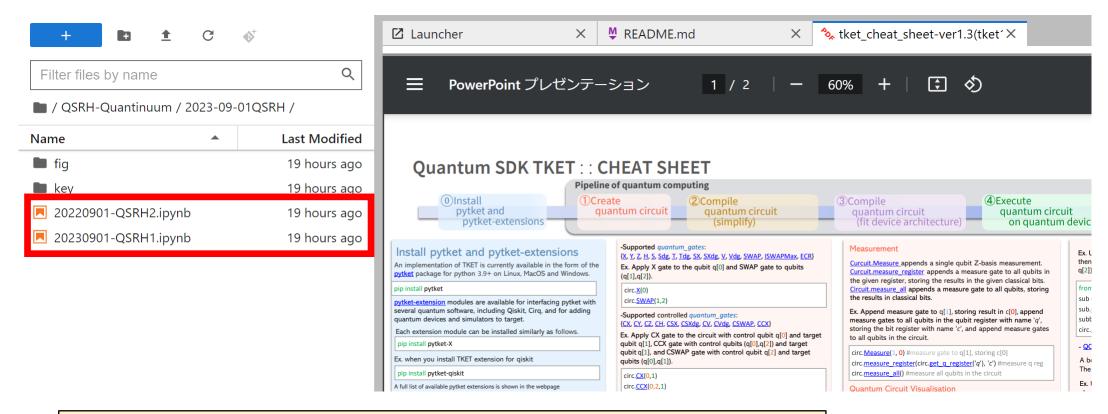
```
root@datascience-1-0-ml-t3-medium-0943ed5e601f607095bd0313c49c:~# git clone https://github.com/cqcjapan/QSRH-Quantinuum.git Cloning into 'QSRH-Quantinuum'...
remote: Enumerating objects: 37, done.
remote: Counting objects: 100% (37/37), done.
remote: Compressing objects: 100% (24/24), done.
remote: Total 37 (delta 7), reused 35 (delta 5), pack-reused 0
Unpacking objects: 100% (37/37), done.
root@datascience-1-0-ml-t3-medium-0943ed5e601f607095bd0313c49c:~#
```

# git clone https://github.com/cqcjapan/QSRH-Quantinuum.git

Teamsのファイルビューワーからこのファイルを開いてURLをコピーすると、 末尾に余分な空白が入り、エラーとなるケースがあります。 URLを一度テキストエディタなどにコピーし、正しいURLを入力すると安全です。

#### ハンズオン環境の起動

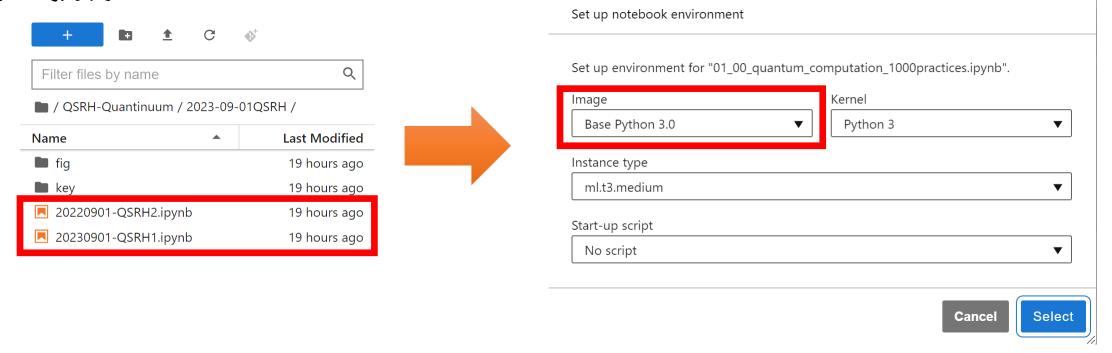
## 教材が置いてある場所に移動



ファイルブラウザで移動 QSRH-Quantinuum > 2023-09-01QSRH

#### ハンズオン環境の起動

## 開く教材をダブルクリック



Base Python 3.0 のImageを選択し「Select」をクリック (Python 3.9+であればなんでも良い)

## IBMQ API tokenの設定

https://quantum-computing.ibm.com/
にアクセス
(アカウントがなければ、各自が作成する必要があります。無料です)

